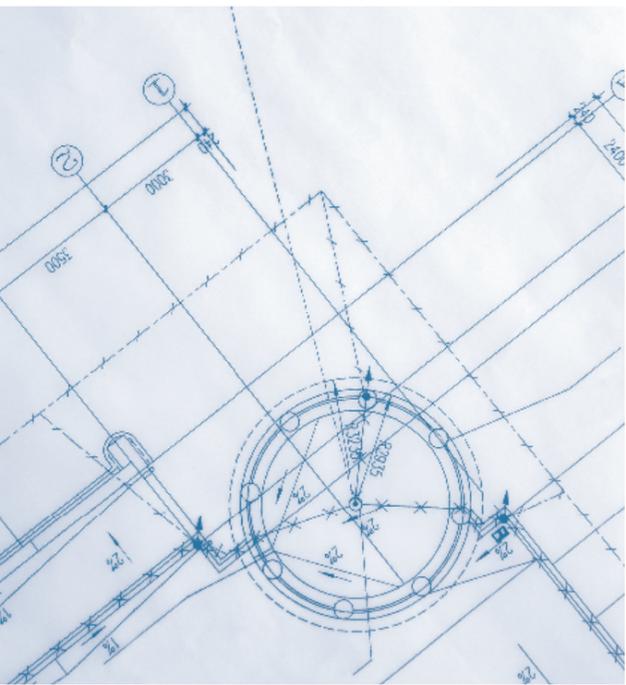




IKESHITA
SEKKEI
COMPANY PROFILE



施工図なら池下設計—— 池下 ブランドで支える“建設の未来”



建設業界を取り巻く環境は、社会情勢に伴い常に変化をしています。昨今では、生産性向上や働き方改革が大きな課題として取り上げられていますが、池下設計の主軸となる生産設計の業務は、建設業界の生産性向上に重要な役割を果たすと考えております。

生産設計の仕事は、設計者の意図を正確に理解し、詳細な図面を起こしていく、建築の根幹を担う業務ですが、生産設計の業界で唯一全国展開に至るまでに成長した当社では、1973年創業以来、建築施工図に特化した高い生産設計技術とCAD技術を蓄積し、社内で情報やアイデアを共有する仕組みを構築してまいりました。その技術を提供することで、建設業界に大きく貢献できると考えております。これからも、更に情報共有システムの開発を強化してまいります。

私が社長に就任した2011年より一貫して変わらぬ想いは、「人を大事にする」ということです。ここまで池下設計が成長して来られたのは、有能な技術者が惜しみなく後輩に技術を継承し、加えてその技術を活用する大きなプロジェクトを当社に任せてくださる取引先があったことです。

施工図なら池下設計——。

そのように皆様に想起していただけるよう、邁進してまいります。

今後とも倍旧のご厚情とご愛顧を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

株式会社 池下設計
代表取締役

池下 潤

1.企業理念

池下設計は多くの情報と知恵から生まれる技術とサービスで建造物に関わる全ての人々の満足を追求します

2.経営方針

「企業理念」の具現化に向けて、3つの経営方針を策定しています。

- ① 顧客満足度の最大化
企業が存続する為の必須要件である顧客(得意先)の視点に立ち、専門家として、高度な技術力とそれに甘えぬ自己研鑽、そして責任をもって行動する
- ② 社員満足度の最大化
企業が存続する為の必須要件である社員の視点に立ち、全社員の幸福と活力の為に、公平無私の精神で行動する
- ③ キャッシュフローの最大化
企業が存続する為の必須要件であるキャッシュフロー(利益)を確保し、磐石な企業であり続ける為に、一人ひとりがコスト意識をもって行動する

3.行動規範

社員が目指すべき人物像や考え方を明確にするものとして、5つの行動規範を定めています。

- ① 一人ひとりが会社の顔であることを自覚します
誠実さと責任感を持ち、信頼される人を目指して行動します
- ② すばやく対応します
期限を厳守するだけでなく、効率を追求します
- ③ 会社に関わる人々と協力します
人に関心を持ち、互いの個性と主張を交えながら協力し合います
- ④ 高い目標に挑戦します
持てる力を最大限に発揮した上で、現状に甘えず自己研鑽します
- ⑤ 未来の幸福を考えます
後に託される者が幸福になれる様に、考えて行動します

建設プロジェクトのあらゆるニーズにお応えする それが、池下設計の使命です

建築設計



生産設計の前段階にあたる建築設計は、意匠設計、構造設計、設備設計に分類できます。意匠設計は建造物の外観や内部空間のデザインなど、建造物の形態や機能を司るものです。構造設計は柱や梁など建造物の強度を決めるもので、建造物の「安全性」を支えます。そして、設備設計は水、空気、電気をコントロールするための設計で、建造物の「快適さ」を整備するものです。



最新のCAD技術を駆使する建築のスペシャリストを数多く擁する池下設計では、意匠・構造・設備を網羅した建築設計・監理業務の実績も豊富にあります。また、耐震診断・設計も自信を持ってご提供します。



建築設計から生産設計(施工図)、施工管理に至るまで、建設プロジェクトのあらゆるニーズにお応えする、それが池下設計の使命です。池下設計は、建築設計・生産設計(施工図)・施工管理のいずれの工程においても、断片的に業務に関わることはありません。課題を総合的に

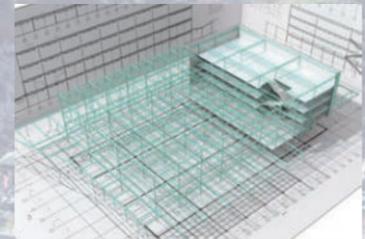
捉え、最も効果的な技術を提供することでプロジェクトの達成に貢献します。また、建築のスペシャリスト集団として、数多くの先端的なプロジェクトに参画し、技術力やノウハウを活かし、設計・監理はもとより、次代を切り開くさまざまな仕事に挑戦しています。

生産設計(施工図)



“匠の技”を極めた職人さんがいても、その技能を余すことなく100%発揮できるか否かは、生産設計(施工図)のクオリティーにかかっています。施工図とは、設計者が作成した設計図書をもとに、専門工業者が理解しやすいかたちに描き直した図面です。簡単に言えば、施工に携わるすべての方への“指示書”です。施工図の精度が悪ければ、腕利きの職人さんがどれだけ多く集まっても、素晴らしい建物は生まれません。

池下設計は1973年創業以来、施工図に特化した高い生産設計技術・ノウハウを蓄積し、業界のリーディングカンパニーとして多くの建造物の建築に貢献してきました。さらに、最新のCADやBIMによる3Dモデリングを積極活用し、絶えず進化を繰り返しています。建築・設備施工図、仮設計画図、総合図——。生産設計の根幹となるそれらの図面に、池下設計の歴史と思いを詰め込み、お客様に提供しています。



池下設計の代名詞 “匠の技”を100%引き出す施工図

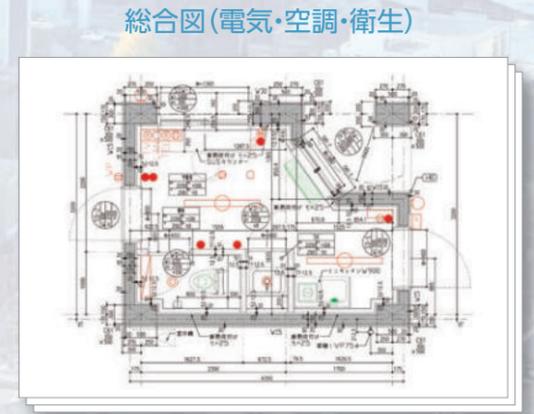
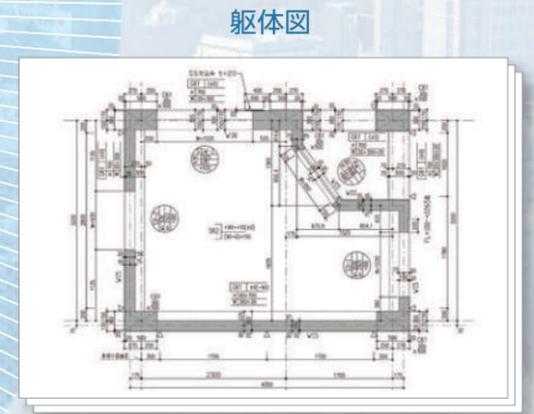
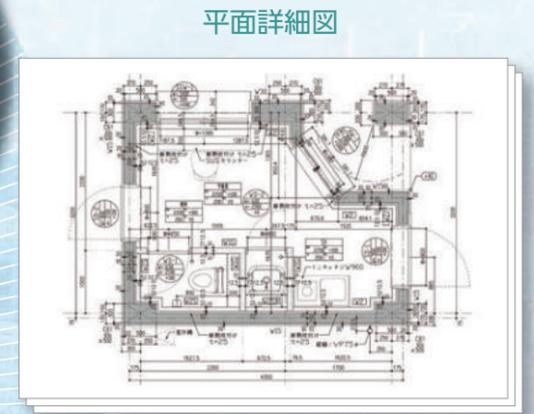
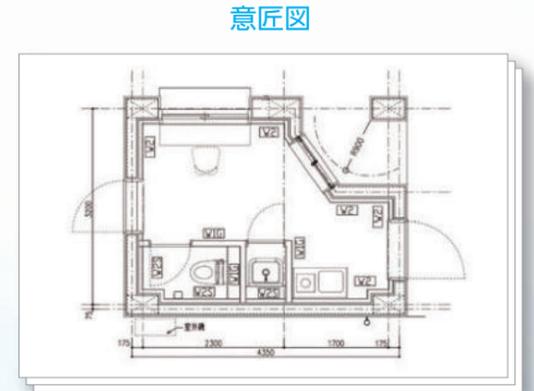
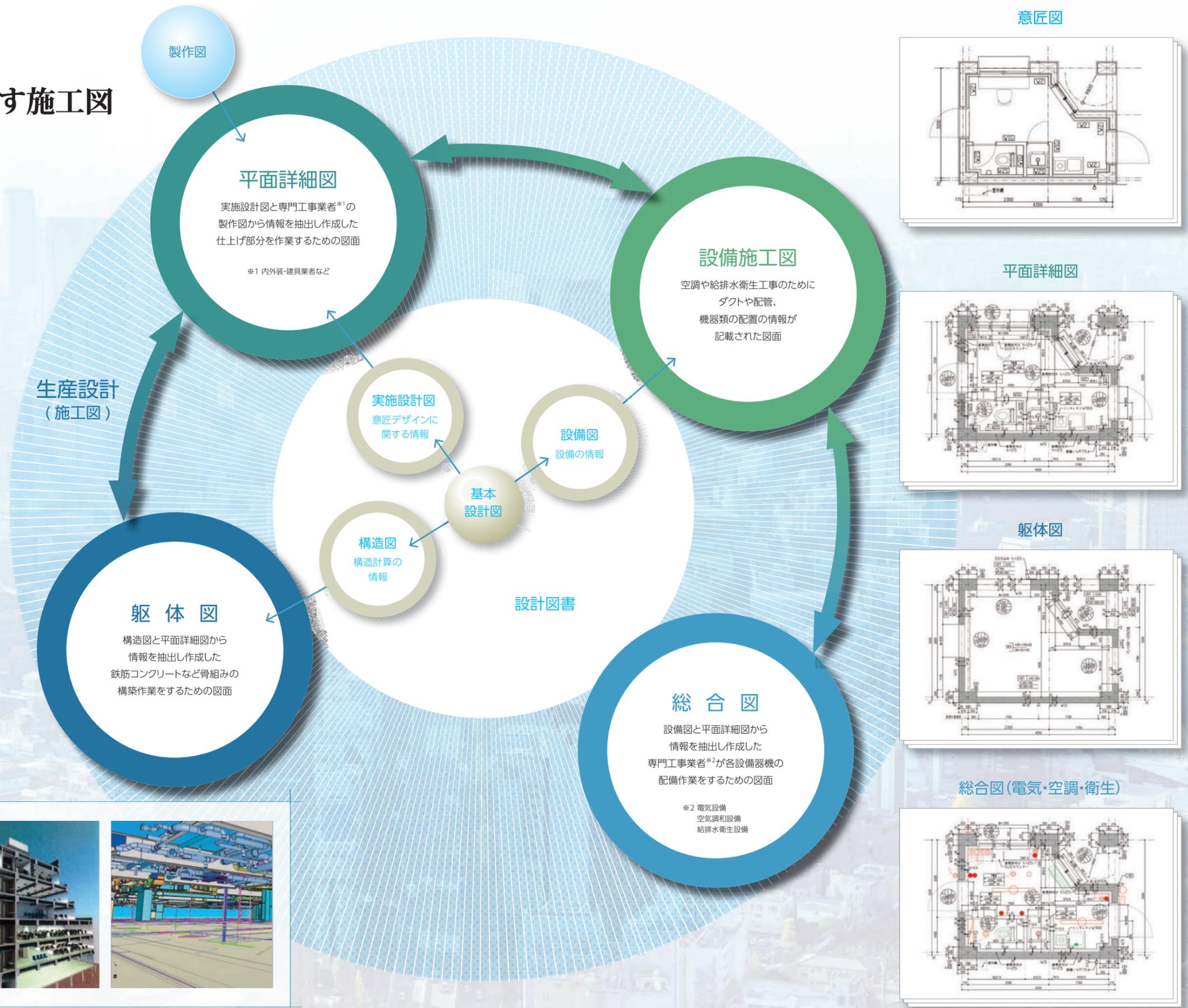
「施工図」とは簡単に言うと「現場で施工するために必要な図面」を指します。施工を行なう施工者(ゼネコン)は設計図書をベースに施工しますが、生産設計(施工図)は以下のために必要です。

1. 施工者が実際の施工にあたり、品質・コスト・環境・安全・工程等の検討を行なう。
2. 専門工事業者や職人への指示、情報共有を行なう。

プロジェクトの着工から竣工に至るまでの生産活動を円滑に進めていくために各種施工図が必要となってきます。

施工図とは、設計情報を読み取り、各工種・職種に対し必要情報をわかりやすく伝えるための翻訳書という位置付けで、設計図を基準に作成することが基本となっています。

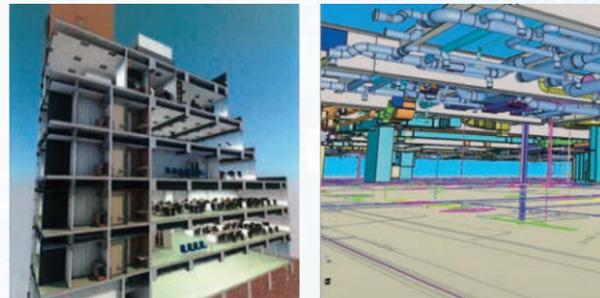
設計図書は建物の完成形を表し、生産設計(施工図)は完成形と各工事の施工の場面ごとに必要な情報を記載します。



column

BIMによる3Dモデリングの活用

ここ数年、2DCADに替わる新しい作図ツールとしてBIMのイノベーションが進んでおり、実用化されています。当社でもBIMの技術者を育成し、実際に設計図や施工図を作成した建物が完成しています。



※BIMとは「Building Information Modeling」の略 ※右画像:3D設備施工図

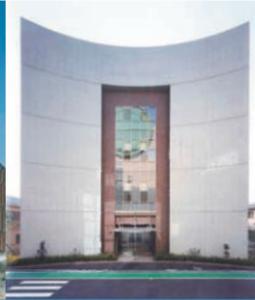
※凡例 赤色:電気設備 緑色:空調・給排水衛生設備

1973年の創業以来、積み上げてきた実績

建築設計



2001年
洲本アルチザンスクエア
(設計・工事監理)



2001年
造幣局研究棟
(設計・工事監理)



2011年
八王子市立第五中学校
(設計)



2013年
東京メトロ 東西線 浦安駅
(設計)



2013年
中央環状新宿線大橋換気所
(設計・工事監理)



2015年
稲城市立南山小学校
(設計・工事監理)



2016年
江東区深川スポーツセンター
(改修設計・工事監理)

生産設計



1993年
横浜ランドマーク
タワー



1994年
恵比寿ガーデンプレイス



2001年
札幌ドーム



2001年
埼玉スタジアム2002



2003年
リバーウォーク北九州



2003年
六本木ヒルズ森タワー



2004年
九州国立博物館 1区



2005年
呉市海事歴史科学館
(大和ミュージアム)



2005年
日本橋三井タワー



2008年
モード学園
スパイラルタワーズ



2014年
飯田橋グラン・ブルーム
オフィス・商業棟



2016年
JO-TERRACE OSAKA



2017年
中之島フェスティバルタワー
・ウエスト



2017年
ふくしま国際医療科学センターD棟

2020年
MIYASHITA PARK

昭和から平成、そして令和へ—成長を続ける池下設計

会社概要

社名	株式会社 池下設計 (いけしたせつけい) Ikeshita Sekkei Co.,Ltd.
代表者	代表取締役 池下 潤
本社所在地	〒164-0012 東京都中野区本町1丁目32番2号 ハーモニータワー 11階
資本金	5,000万円
従業員数	694名 (2021年4月1日現在)
年商	50.5億円(2021年3月期)
許可業種	<ul style="list-style-type: none"> ■一級建築士事務所登録番号 東京都知事登録 第23845号 埼玉県知事登録 (1)第10883号 北海道知事登録 (石)第4098号 大阪府知事登録 (へ)第13768号 福岡県知事登録 第1-60328号 ■労働者派遣事業許可番号 派13-080340 ■有料職業紹介事業許可番号 13-ユ-080433

グループ会社
株式会社 蒼設備設計

沿革

1973(昭和48)年	池下建築設計事務所 創業
1981(昭和56)年	株式会社エムエージー池下建築設計事務所 法人設立 代表取締役社長に池下栄治が就任
1983(昭和58)年	大阪支店開設(後、関西支店に名称変更) 社是制定
1985(昭和60)年	札幌支店開設 東北支店開設 名古屋支店開設
1986(昭和61)年	広島支店開設 福岡支店(現九州支店)開設
1993(平成5)年	株式会社池下設計 に社名変更 ロゴマーク 制定
1994(平成6)年	社団法人警視庁管内特殊暴力防止対策連合会(現 公益 社団法人警視庁管内特殊暴力防止対策連合会) 加盟
2000(平成12)年	施工図作成のための「標準ディテールデータ」を作成
2001(平成13)年	「AutoCAD操作練習」「AutoCADレイヤー標準」 「躯体図標準表示」「CD-ROMマニュアルの手引き」等 社内マニュアルを作成
2010(平成22)年	AutoCADの自主学习システムを開発 社名・ロゴマーク・Ikeshita Self-Learning System 他1件を商標登録
2011(平成23)年	代表取締役に 池下 潤 が就任
2011(平成23)年	代表取締役 池下 潤が杉並地区特殊暴力防止対策協議会 会長に就任(～2015年3月迄)
2015(平成27)年	北関東支店 開設 金沢営業所 開設
2016(平成28)年	京都支店 開設 関西支店を大阪支店に名称変更
2018(平成30)年	横浜支店 開設 神戸支店 開設
2019(平成31)年	株式会社 蒼設備設計の株式取得
2020(令和2)年	株式会社 日本設備企画より建築設備施工図の事業譲渡を 受け 東京設備支店 開設
2021(令和3)年	本社を東京都中野区へ移転

日本各地につながる池下ネットワーク

事業所一覧

